



発行

社会福祉法人 尾張旭市社会福祉協議会

〒488-0074 尾張旭市新居町明才切57番地 保健福祉センター内

TEL 54-4540 FAX 51-1880 ホームページ <http://www.owariasahishakyo.jp/>

社協だよりやその他の社協情報はホームページでもご覧になれます。

社協HP▶



愛ちゃん と 希望くん



©中央共同募金会

尾張旭市の 赤い羽根共同募金



10月1日(水)全国一斉にスタート

▲昨年度の市民祭での募金運動

尾張旭市共同募金委員会では、共同募金運動を10月1日(水)～令和8年3月31日(火)の6か月間実施し、10月1日(水)から順次、街頭募金を行います。

また、令和8年1月1日(木・祝)～3月31日(火)は、「障がいや疾患などにより移動が困難なかたの外出手段支援」をテーマに、社会福祉協議会が行う車いす貸出事業の充実を図るための募金運動を行います。

ぜひ、皆さんのあたたかい善意をお寄せください。

contents (主な項目)

- | | |
|------------------------|---------------|
| ●赤い羽根共同募金 | ●知るサポだよりNo.42 |
| ●第77回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール | ●家庭介護教室開催のご案内 |
| ●ボランティアセンターからのお知らせ | ●日常生活自立支援事業 |
| ●あさひ支えあいサロン開設助成事業 | ●フードドライブ事業 |
| ●あさひ生活応援サービス事業 | ●寄付者一覧 |



『じぶんの町を 良くするしくみ。』 ってどういうこと？

市内で寄付していただいた共同募金は、尾張旭市社会福祉協議会に約7割が配分され、さまざまな地域福祉事業に活かされることから、この標語がつけられています。

ぜひ「尾張旭市内」での募金をお願いします。



共同募金は どのように行われ ているの？

【戸別募金】

連合自治会、自治会、町内会を通じて、各世帯に赤い羽根と募金封筒を配布してお願いします。

【街頭募金】

商業施設などで、地域のボランティアのかたがたにご協力いただいて実施します。

【法人募金】

企業や事業所に寄付を呼びかけています。

【職域募金】

企業、団体、官公庁などの職場で、お勤めのかたにお願いします。

【学校募金】

小学校の児童会や、中学校、高等学校の生徒会などを通じて児童・生徒にお願いします。

【テーマ設定型募金】

「障がいや疾患などにより移動が困難なかたの外出手段支援」をテーマに設定し、イベントなどで募金を呼びかけます。



共同募金は どのようなことに使 われているの？

【地域福祉推進のために】

校区社会福祉推進協議会の活動支援／福祉のまちづくり推進助成事業

【高齢者のために】

尾張旭市シニアクラブ連合会の活動支援／ボランティア給食サービス事業／敬老肖像写真の贈呈事業／高齢者サロンの活動支援

【障がいのあるかたのために】

点訳・音訳・要約筆記を行う団体の支援／行事の支援／施設の支援／おもちゃ図書館の運営

【こどもたちのために】

青少年健全育成団体の活動支援／社会を明るくする運動の支援／赤い羽根こころの文庫の設置／児童養護施設の支援／民間学童クラブの活動支援／子育てサロンの活動支援／子ども食堂の支援



【歳末たすけあいに】

要保護・準要保護家庭児童生徒の支援／養護施設入所児童生徒の支援

【外出手段支援のために】

障がいや疾患などにより移動が困難なかたの外出手段支援(テーマ設定型募金)

【全県域の福祉推進のために】

社会福祉施設の整備費／社会福祉団体の事業費／募金運動推進活動費など

共同募金の寄付には、 税制上の優遇措置があります。

◎個人の寄付

寄付金額によっては、所得税、住民税の寄付金控除の対象となります。

◎法人の寄付

株式会社などの法人の寄付は、全額損金扱いとなります。

※優遇措置の詳細につきましては、税務署にお尋ねください。

右記の二次元バーコードから、「尾張旭市共同募金委員会」へクレジットカードやPayPayなどから寄付ができます。また、寄付金の使いみちも見るができます。



尾張旭市共同募金委員会では、今年も市内小・中学校の児童生徒の皆さんから書道及びポスターを募集し、書道314点、ポスター77点の応募がありました。

そのうち、次の作品が愛知県共同募金会への推薦作品に選ばれました。多数のご応募ありがとうございました。なお、推薦作品は11月4日(火)～11月28日(金)の間、尾張旭市保健福祉センターにて展示します。

書道の部(順不同・敬称略)



三郷小学校 3年
青井 美咲希



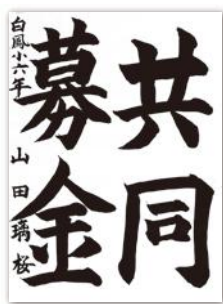
城山小学校 3年
本川 紗希帆



渋川小学校 5年
志智 光莉



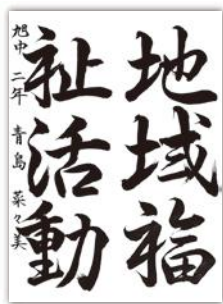
白鳳小学校 6年
久保田 陽莉



白鳳小学校 6年
山田 璃桜



旭中学校 1年
竹谷 愛佳



旭中学校 2年
青島 菜々美

ポスターの部(順不同・敬称略)



城山小学校 1年
細羽 真央



東栄小学校 2年
横山 遼



城山小学校 3年
野村 姫華



城山小学校 4年
松井 理央



城山小学校 5年
江崎 渚奈



渋川小学校 6年
林 千壽



東中学校 1年
杉浦 実和

ボランティアセンターからのお知らせ

利用時間 午前9時～午後5時 ※土・日曜日、祝・休日を除く TEL 51-5535 FAX 51-5543
尾張旭市渋川町三丁目5番地7 渋川福祉センター内

ボランティアサロン のご案内



ボランティアセンターでは、ボランティア活動に興味をお持ちのかたや、すでに活動をされているかたを対象に「ボランティアサロン」を右表のとおり毎月1回開催しています。この機会にボランティア活動に触れてみませんか。

○申し込み及び問い合わせ先

渋川ボランティアセンター

〈11月・12月・令和8年1月のボランティアサロン〉

と き	11月27日(木) 午前10時～正午	12月11日(木) 午後1時30分～3時	1月28日(水) 午後1時～3時
ところ	渋川福祉センター 1階 ボランティア室	渋川福祉センター 1階 ボランティア室	渋川福祉センター 1階 集会室
内 容	松ぼっくりの 手づくりツリー	大切なかたへ贈りたい 切り紙でカードづくり	教えて編集長! ～書く力は〇〇力!?～
講 師	ToyToy	野村 律子 氏	瀬戸・尾張旭・長久手 中日ホームニュース
参加費	300円	300円	無料
定 員	8人	10人	15人

※定員を超えた場合は、抽選になることがあります。

ふくし探検隊 ～尾張旭市のやさしいところを探してみよう～



市内在住の小学5・6年生を対象に、「ふくし」について学ぶ福祉教育講座を開催します。

この講座は、子どもたちが車いす体験や参加者同士の話し合いを通じて「支え合うこと、ともに生きること」の大切さや人を思いやる優しい心を育む機会になってほしいと願い開催するものです。

車いすユーザーの講師や、愛知県立大学学生ボランティアの皆さんと一緒に「ふくし」について学び、住みよいまちになるにはどんな工夫があるのか考えてみませんか。



▲車いす体験の様子

と き	11月29日(土)午前9時30分～午後3時45分 ※昼食は持参してください。	対 象	市内在住の小学5・6年生		
ところ	保健福祉センター 4階 シアタールーム	定 員	先着15人	参加費	無料
内 容	室内・屋外での車いす体験、ふくしマップ作りを通して「ふくし」を学びます。	申し込み方法	社会福祉協議会に電話か直接		
		申し込み期限	11月10日(月)		

ボランティアスキルアップ講座 ～オンラインツール編～



ボランティア活動などに役立つオンラインツールの操作方法や活用方法を習得する場を提供し、ボランティア活動を支援します。今回の講座では、LINEの便利な機能の習得や生成AIを活用してボランティア活動に役立つスキルを身に付けることを目標に講座を開催します。

たくさんのかたのご参加をお待ちしています。

と き	12月12日(金)午前10時～正午		
ところ	渋川福祉センター 1階 会議室		
内 容	LINEの便利な機能習得(投票機能、画像の加工など) 生成AIの活用(チラシの文章作成、画像作成、イベントのアイデア出し)		
対象者	ボランティア活動にLINEや生成AIを活用したいと考えているかた		
講 師	NPO法人デジタルライフサポーターズネット		
定 員	先着20人	参加費	無料
持ち物	LINEアプリインストール済みスマートフォン(iPhone可)、筆記用具		
申し込み方法	社会福祉協議会に電話か直接		
申し込み期限	11月28日(金)		

地域のサロン活動の立ち上げを応援します!

～あさひ支えあいサロン開設助成事業～

この助成事業は、地域の高齢者やその介護者などの閉じこもりや孤立を防ぐため、集会所・ふれあい会館・個人宅などの場所を活用し、地域の皆さんによる出会いの場づくりを支援します。

【助成対象活動】市内で行う、次の要件のすべてを満たすサロン活動の立ち上げに対し、開設資金を助成します。

- ①実施回数:原則として、月1回以上
- ②活動内容:参加者の実情などに応じた多様な活動
- ③参加者数:概ね5人以上
- ④会場:公民館などの公共施設や個人宅など多様な形態で可
- ⑤参加対象者:活動地域に在住し、交流や見守りが必要と思われる高齢者やその家族など

【助成金額】1か所につき、上限5万円

サロン活動紹介②



【サロン笑会】

令和6年10月に本事業を活用していただきました。

①活動拠点 ②活動日時 ③参加費 ④活動内容 ⑤目的・特色

- ①カフェ・レストRose
- ②毎月第1月曜日 午後1時～3時
- ③300円
- ④音読会、お話して楽しく交流など
- ⑤地域の皆さんと楽しく交流しながら、「元気なシニアが未来を創る」を目標に、認知症予防や健康維持のため開催しています。皆さんのご参加をお待ちしています。

高齢者のちょっとした困りごとをお助けします!

あさひ生活応援サービス

○あさひ生活応援サービス事業とは?

ご高齢のかたが、住み慣れた地域でその人らしく安心した生活を送ることができるよう、日常生活上のちょっとした困りごとを解決することを目的とした、互助の精神を基調とする住民参加型の非営利の生活支援活動です。

○どんな援助が受けられるの?

家事援助、外出時の付添い、買い物、話し相手などで、援助の時間は1回あたり最大60分間(延長なし)です。ただし、専門知識が必要な介護援助やサポーターの車への同乗、本人に関わることを以外の援助はできません。

○どんな人が利用できるの?

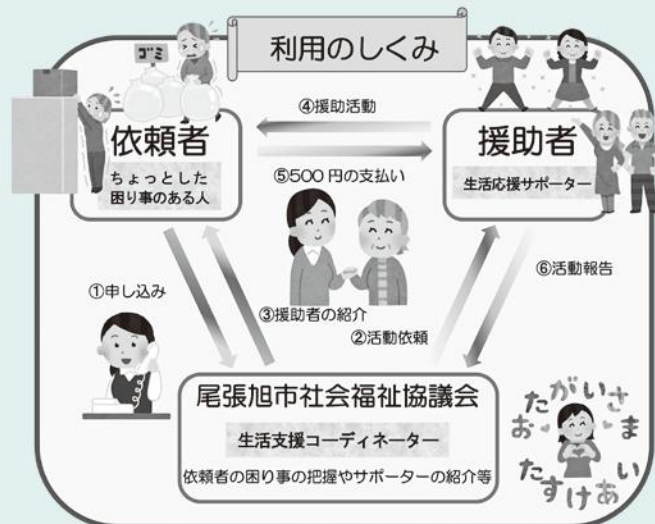
援助を依頼できる人は、「尾張旭市内にお住まいの65歳以上の高齢者で援助の必要なかた」です。ただし、要支援または要介護認定を受けているときは、介護保険サービスの利用を優先したうえで、必要と認めた場合に限りま。

○どんな人が助けてくれるの?

本会に登録された「生活応援サポーター」です。

○利用するとお金は支払うの?

援助1回あたり500円です。



【申し込み及び問い合わせ先】 生活支援コーディネーター業務担当(森島・鶴見・吉川) TEL 55-7071(直通)

知るサポだより

No.42

～尾張旭市地域包括支援センター～

自分らしく、 介護予防しませんか

現在、日本では100歳以上の人口が9万人を超え、2050年頃には50万人に達するといわれています。重要なのは健康寿命(健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間)を延ばすことです。令和4年時点の日本人の平均寿命と健康寿命は、下表のとおりです。

	男性	女性
平均寿命	81.05年	87.09年
健康寿命	72.57年	75.45年
平均寿命と健康寿命との差	8.49年	11.63年

※厚生労働省:「健康寿命の令和4年値」

高齢期であっても、誰もが介護を必要とするとは限りません。介護保険サービスを利用しているかたは、全体の2割未満であり、残りの8割以上では、健康で、就労やボランティア、地域活動などに参加するかたも少なくありません。社会参加をすることは、生活への意欲や活力を引き出し生活の質(QOL)を高め、引きこもり防止や介護予防に繋がります。

健康寿命を延ばすためにも、自分らしく社会と関わり続けることが理想的です。

身元保証などの高齢者サポートサービス契約をめぐるトラブルに注意

地域包括支援センターでは、身寄りがなく、頼れる人が近くにいない高齢者から、「医療機関への入院・介護施設などへの入居の際の身元保証人(身元引受人)の手配や、亡くなった後の葬儀の手配や遺品整理について不安がある」といった相談

を受けることがあります。

そのような将来の不安に対して具体的に準備を始めようと、「身元保証」「日常生活支援」「死後事務」などを支援する「高齢者サポートサービス」の契約利用を検討されるかたもいます。

その一方で、高齢者サポートサービス提供事業者との契約をめぐる、「高額な契約料を求められた」「内容がよく分からずに契約してしまった」「解約時にお金が返金されない」などのトラブルが発生しており、国も注意を呼びかけています。

契約後に不利益を被り後悔しないために、本当にその契約が必要か、内容が適切かを慎重に検討することにより、事業者とのトラブルを防止することができます。

次にあげる項目は特にトラブルになりやすいので、契約する前に注意して確認しておきましょう。

- ☐ 自分にとっては必要のないサービスの利用が契約の必須条件となっていないか
- ☐ サービス内容と利用料の関係はわかりやすいか
- ☐ 契約を途中で解約できることが定めてあるか
- ☐ 預けたお金の保管方法、使途や残金の報告義務が定めてあるか
- ☐ 苦情申し出窓口が設けられているか

身元保証人などに求められる役割のうち、利用料などの支払・緊急時の対応・死後事務対応などは、成年後見制度や法律職との契約などで対応できる場合があります。

頼れる人が身近にいないことで将来に不安を感じることがあれば、地域包括支援センターへご相談く

TEL 55-0654(直通)

ださい。

骨を丈夫に保って 骨折を予防しましょう

こつそしょうしゅう

骨粗鬆症は骨の強度が低下し骨折をしやすくなる病気です。骨量は20歳をピークに低下していきます。特に女性は閉経を機に急激に減少します。

介護が必要になる大きな原因の一つに「転倒・骨折」があり、転倒して骨折するかどうかは、要介護状態になるかの大きな分かれ道です。丈夫な骨を保って骨折を予防しましょう。



こつそしょうしゅう

《骨粗鬆症の危険性をチェック》

次の項目にあてはまる数が多いかたほど注意が必要です。

- ☐ 牛乳、乳製品、小魚をあまりとらない
- ☐ タバコをよく吸う
- ☐ お酒をよく飲む
- ☐ あまり外に出ない
- ☐ 体を動かすことが少ない
- ☐ 最近、背中が丸くなり腰が曲がってきた
- ☐ ちょっとしたことでも骨折したことがある
- ☐ 体格がどちらかと言うと細身だ
- ☐ 家族に骨粗鬆症と診断された人がいる

こつそしょうしゅう

《丈夫な骨のためにできること》

丈夫な骨を保つためには、4つのポイントがあります。

①カルシウムを摂る

成人は1日600mgの摂取が目安です。

・牛乳200cc

…カルシウム200mg

・もめん豆腐2/3丁(200g)

…カルシウム240mg

・小松菜1/4把

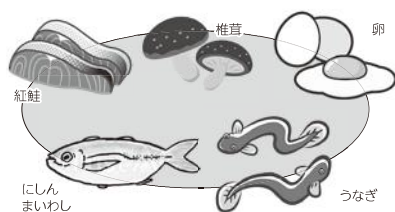
…カルシウム232mg

・いわしの煮干し4本(10g)

…カルシウム220mg

②ビタミンDを摂る

ビタミンDはカルシウムの吸収を良くし、骨にカルシウムが沈着するのを助けます。



▲ビタミンDを多く含む食品

③日光に当たる

紫外線の刺激によって自分の体(皮下)でビタミンDが作られます。木陰でも日光浴の効果がありますが、ガラス越しでは効果がないので注意しましょう。

④運動をする

運動をすると重力が刺激になり骨形成を高めます。

高齢になるとカルシウムの吸収も低下します。カルシウムとともにビタミンDを摂り、日光にあたりながら散歩やラジオ体操などができると一石二鳥、三鳥です。

今年度はすでに終了していますが、地域包括支援センターでは65歳以上のかたを対象に毎年6、7月に栄養や歯の健康講座を開催しています。ご自身の健康のため、ぜひご参加ください(開催1か月前の広報あさひに案内予定です)。

介護のヒントがここにある! 家庭介護教室を開催します

あさひ健康
マイスター
チャレンジ
対象事業

高齢者を介護している家族などに対し、介護に関する知識や技術を学ぶことで、介護の不安解消を図り、要介護者が安心して在宅生活を送ることができるよう支援することを目的に開催します。

介護の「ヒント」や「不安解消」にぜひご参加ください。

と き	11月15日(土)午前10時～正午		
ところ	尾張旭市保健福祉センター 4階 シアタールーム		
講 師	愛知医科大学 看護学部 講師 横山剛志 氏		
テーマ	ひとりで抱え込まない介護～足もとから始める介護ケア～		
内 容	講義・演習	定 員	先着20人
参加費	無料	申し込み方法	社会福祉協議会に電話か直接

判断能力に不安のあるかたに『日常生活自立支援事業』がお手伝いします

○対象者

認知症、知的・精神障がいなどの理由で、契約などの判断をすることやお金の出し入れ・書類などの管理が不安なかた

○援助内容

- ①福祉サービスの利用支援(利用料の支払い、手続きなど)
- ②日常的な金銭管理(生活費の出し入れ、公共料金の支払いなど)
- ③通帳や印鑑などの預かり

※この事業は、「福祉サービスの利用支援」の利用が原則です。「日常的な金銭管理」や「通帳や印鑑などの預かり」は、それに付随するサービスです。付随するサービスのみの利用はできません。

○利用料

1回1,200円(ただし、③の支援は月額250円)

○申し込み及び問い合わせ先

社会福祉協議会

<日常生活自立支援事業利用までの流れ>

社会福祉協議会へ相談

専門員の訪問調査

契約締結審査会の承認

専門員が支援計画の作成

契約書の締結

サービス開始

- 担当の生活支援員が訪問して支援
- 支援回数は月に概ね1～2回

食品をご寄付いただきありがとうございました!

6月9日(月)～15日(日)に実施しました「フードドライブ事業～食品の持ち寄りで支えあい～」にご協力いただきありがとうございました。7日間でたくさんの食品が集まりましたので報告いたします。

ご寄付いただいた食品は、6月16日(月)にフードバンク事業を担う認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋へ提供しました。



集まった食品 合計216.6kg(米42.2kg、米以外174.4kg)

＜ご寄付いただいた食品の種類と点数＞

食品の種類	点数(点)
米	32
缶詰	68
インスタント食品、レトルト食品	148
調味料各種	58
乾物(乾麺、海苔、豆など)	49
飲料(お茶、ジュース、コーヒーなど)	84
その他	102
合 計	541

今回は、12月8日(月)～14日(日)の実施を予定しています。引き続きのご協力をお願いいたします。

慶弔のお返しを福祉のまちづくりに

社協では、香典返しの一部をご寄付いただいたかたに対し、礼状と封筒の作成、宛名書きをいたします。詳しくは、お問い合わせください。

こんなとき、こんなお金をぜひ、**社会福祉協議会**へご寄付を!!

- 福祉のために役立てようと思ったとき
- 会社や商店の開設、開店などの記念事業の一部
- お祝い事、香典の一部
- 同窓会等の残金、各種チャリティーバザー

「社協だより 尾張あさひ」 〔広告掲載のご案内〕

社会福祉協議会の広報紙「社協だより 尾張あさひ」に広告を掲載してみませんか?

令和7年度冬号(令和8年1月発行)に掲載の広告を募集します。

広告の掲載は有料です。広告掲載に関する詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

社会福祉協議会
問い合わせ先 電話 54-4540

※広告の1枠の大きさは、縦6cm、横8.5cmです。ただし、2枠、4枠分の大きさで掲載することもできます。

善意のご寄付ありがとうございます

「福祉に役立ててください」と、たくさんの善意が寄せられています。皆さんにご報告するとともに、厚くお礼申し上げます。

5月20日～8月26日 (順不同)

■一般寄付

寄付者名/寄付金額(単位:円)	
尾張旭市民生委員児童委員協議会 様	25,922
昭和41年3月東栄小学校卒業生6年1組2組合同同年会 様	4,427
天理教三乃分教会 様	100,000
“小さな善意で大きな愛の輪”運動 ピアゴ印場店 様	155,388
尾張旭ライオンズクラブ 様	10,000
尾張旭ロータリークラブ 様	10,000
匿名(11件)	664,611

■物品寄付

寄付者名/物品名	
大島 須瀧子 様(緑町)	紙おむつ6袋、尿取りパッド2袋
たいようの会 様	雑巾50枚、布ティッシュ120枚
伊藤 様(尾張旭市)	紙おむつ12袋
城山校区社会福祉推進協議会 様	車いす5台
匿名(6件)	紙おむつ10袋、尿とりパッド16袋、車いす1台

※物品の状態によっては受け取りできない場合がありますのでご了承ください。